

ふくしえんだより

発行責任者 今野正孝

第74号

【旭川福祉園】〒070-0901 旭川市花咲町1丁目2-2-3-2番地

事務局 TEL(0166)53-5781・FAX(0166)51-2409 / 支援員直通 TEL(0166)54-8553・FAX(0166)54-8559

【障害者支援センターきたのまち】TEL(0166)38-1001・FAX(0166)38-1002



謹賀新年

旭川旭親会【<https://kyokushinkai.or.jp/index.html>】
きたのまち【<https://kyokushinkai.or.jp/kitanomachi.html>】

主 ● な ● 記 ● 事

- | | |
|--------------------------------|---------------------------------|
| ★理事長よりあいさつ・・・・・・・・・・・・・ 2 | ★各事業所の紹介（生活介護）・・・・・・・・・・ 6 |
| ★各役員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2 | ★各事業所の紹介（グループホーム）・・・・・・ 7 |
| ★助成金関係・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 | ★2023年のできごと・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7 |
| ★決算報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3 | ★寄付金・寄贈品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 |
| ★きたのまちより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 | ★新任職員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 |
| ★各事業所の紹介（就労継続支援B型）・・・・・・ 5 | ★編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8 |

新年のごあいさつ

社会福祉法人 旭川旭親会
理事長 今野正孝

明けましておめでとうございます。

昨年中は多くの方々から大変お世話になりありがとうございました。不透明な時代の中、皆様からのあたたかいご支援のもと、大禍なく一年をおくれましたことに心から感謝申し上げます。

社会福祉法人旭川旭親会は時代の変遷とともに着実に成長してまいりました。昭和6年宮下一丁目に創設された養老院が、昭和23年旭川市立慈恵院となり、昭和28年現在の社会福祉法人旭川旭親会があります花咲町一目に新築移転されました。その後昭和49年10月慈恵院から緑風苑となり春光台の福祉村に移転され、昭和55年2月北海道内で初の知的障害者(精神薄弱者)通所授産施設「旭川福祉園」として、19名の利用者さんと7名の職員でスタートをきりました。

光陰矢の如しと言われますが、その時から数えて早いもので、今年の2月で44年目を迎えることとなります。

このように長い歴史をへて変化の激しい現在に至っているわけではありますが、今では個性豊かな職員と共に社会性の高い法人組織になりました。令和6年度は、農業を中心にチャレンジングな年になりますが、日常を大事にして慎重な法人運営を心がけていきたいと思っておりますので、引き続きご指導ご鞭撻賜れば幸いです。

結びとして、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。



昭和28年～54年7月



昭和55年2月1日



令和4年4月1日

社会福祉法人旭川旭親会

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------|------|------|------|------|-----|------|----|------|------------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|------------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|----|------|----|-------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|------|-----|------|
| 監査 | 富倉美由紀 | 行事委員 | 上林昌人 | 美化委員 | 鈴木直土 | 副会長 | 田井内花 | 会長 | 阿部泰輔 | 旭川福祉園利用者自治 | 世話人 | 藤岡雅恵 | 世話人 | 増井智子 | 世話人 | 杉田保憲 | 世話人 | 鈴木隆光 | 世話人 | 富倉博信 | 旭川福祉園保護者の会 | 評議員 | 鈴木太郎 | 評議員 | 加藤優樹 | 評議員 | 高野祐子 | 評議員 | 萩原信一 | 評議員 | 湯野公久 | 評議員 | 稲田泰吉 | 評議員 | 大廣與隆 | 評議員 | 山崎幸隆 | 監事 | 加藤優幸 | 監事 | 佐藤千賀子 | 理事 | 煙山一康 | 理事 | 濱田弘子 | 理事 | 山田雅彦 | 理事 | 生駒英作 | 理事 | 中田正孝 | 理事長 | 今野正孝 |
|----|-------|------|------|------|------|-----|------|----|------|------------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|------------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|----|------|----|-------|----|------|----|------|----|------|----|------|----|------|-----|------|

助成事業内容

令和5年度介護従事者確保総合推進事業
 (キャリアパス支援研修事業)の助成金交付を受けまして、
 北海道強度行動障害支援者養成研修
 フォローアップ研修・キャリアパス支援研修・
 公開講座を開催しました

助成金対象事業

令和5年度介護従事者確保総合推進事業
 (キャリアパス支援研修事業)

助成金額 527,000円

研修内容 自閉症スペクトラムのコミュニケーションを支援する
 (強度行動障害の予防と視覚的支援)

講師 門真一郎先生(フリーランス児童精神科医)
 久賀谷洋先生(自閉症スペクトラム支援士EXPERT)

開催日 令和5年9月15日(帯広市)
 令和5年9月16日(旭川市)
 令和5年9月17日(稚内市)

対象者 北海道内の障害者施設職員

参加人数 帯広89名
 旭川78名

稚内56名 合計223名

主催 社会福祉法人 旭川旭親会

社会福祉法人 侑愛会

社会福祉法人 帯広福祉協会



令和4年度 決算報告

社会福祉法人 旭川旭親会

(単位:千円)

貸借対照表の要旨 令和5年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
流動資産	258,793	流動負債	42,080
固定資産(基本財産)	572,324	固定負債	171,682
固定資産(その他の固定資産)	241,744		
		負債の部合計	213,762
		純資産の部	
		基本金	30,065
		国庫補助金等特別積立金	213,419
		その他の積立金	180,022
		次期繰越活動増減差額	435,593
		純資産の部合計	859,099
資産の部合計	1,072,861	負債及び純資産の部合計	1,072,861

資金収支計算書の要旨

(自)令和4年4月1日

事業活動計算書の要旨

(至)令和5年3月31日現在

科目	金額	科目	金額
就労支援事業収入	42,361	就労支援事業収益	42,361
就労支援事業支出	42,401	就労支援事業費用	42,361
就労支援事業活動収支差額	-40	就労支援事業活動増減差額	0
事業活動による収入	373,827	サービス活動収益	367,731
事業活動による支出	312,669	サービス活動費用	335,759
事業活動資金収支差額	61,158	サービス活動増減差額	31,972
施設整備等による収入計	17,806	サービス活動外収益	6,095
施設整備等による支出計	19,896	サービス活動外費用	1,448
施設整備等資金収支差額	-2,090	サービス活動外増減差額	4,647
その他の活動による収入	0	経常増減差額	36,619
その他の活動による支出	10,343	特別増減収益	0
		特別増減費用	580
その他の活動資金収支差額	-10,343	特別増減差額	-580
当期資金収支差額合計	48,685	当期活動増減差額	36,039
前期末支払資金残高	176,295	前期繰越活動増減差額	406,779
		当期末繰越活動増減差額	442,818
		その他積立金取崩額	0
		その他積立金積立額	7,225
当期末支払資金残高	224,980	次期繰越活動増減差額	435,593

上川中南部障害者就業・生活支援センターきたのまち センター長 垣内中 明

新年明けましておめでとうございます。
 当センターは平成21年4月より北海道と北海道労働局の委託を受け、上川中南部（2市12町1村）を活動圏域に現在9名のスタッフで運営しています。
 今年は4年ぶりに在職者交流会を開催し一般企業で勤務している利用者同士のグループワークやボッチャの体験会などを行い久々に交流の機会を設けることが出来ました。
 また、2024年4月から、障害者の法定雇用率が段階的に引き上げられますので、社会における活躍の場が増えることが予想されます。
 今年もハローワーク旭川、障害者職業センター旭川支所等と連携しチーム支援としての体制を構築して支援にあたります。
 一人でも多くの相談者が就職、また長く職場に定着できるように就業、生活面での一体的な相談支援を行っていききたいと思います。
 本年もよろしくお願いいたします。

【令和5年4月1日～12月31日の活動報告】

	身体	知的	精神	発達	難病	高次脳	その他	計
登録者数	37	506	155	102	3	1	11	815
新規求職者数	3	42	17	8	0	0	1	71
相談支援件数	253	2,064	1,155	621	4	0	30	4,127
職場実習の斡旋	1	36	8	1	0	0	0	46
就職件数	6	56	7	5	1	0	3	78
職場定着支援	31	1,058	111	31	3	0	8	1,242

北海道発達障害者支援 道北地域センターきたのまち 副センター長 富士本 百合子

新年あけましておめでとうございます。
 今年度は、5月18日19日の2日間の日程で「北海道強度行動障害支援者養成研修」を実施いたしました。そのフォローアップ研修として、キャリアパス研修も兼ねた研修を9月15日、16日、17日の日程で行いました。講師に京都でフリーランス児童精神科をされている門真一郎さまと、自閉症 e-サービスの久賀谷洋さまをお迎えして帯広・旭川・稚内の3会場でご講演いただきました。



きたのまち相談支援事業所 管理者 島倉 千香絵

新年あけましておめでとうございます。
 きたのまち相談支援事業所では、指定特定相談支援事業・指定一般相談支援事業・指定障害児相談支援事業をしています。日頃より、ご家庭へのモニタリング訪問にご協力をしていただき、ありがとうございます。
 今後も法人全体で力を合わせて地域の課題に取り組み、福祉サービスを利用する方々が安心して過ごせるように努めていきます。
 本年もどうぞよろしくお願いいたします。

きたのまちジョブリハセンター センター長 大泉 加奈

新年あけましておめでとうございます。
 きたのまちジョブリハセンターでは、現在43名の方が登録をされ、1日おおよそ10名の方が利用されています。今年度はコロナウイルスの影響を受けることなくイベント参加や動物園への小行事などの活動を行いました。又、就職に向けて動き出す方も出始めました。これからもメンバーの希望をする活動や作業を取り入れ安心して利用できるように努めていきます。
 本年もどうぞよろしくお願いいたします。

旭川市職親会 事務局 長尾 明佳

新年あけましておめでとうございます。
 障がいをもつ方々の就職と職場への定着を支援し、共に働き、共に暮らすことを願う様々な職種の事業主を中心として、昭和37年に設立された旭川市職親会は、今年で62年目を迎えます。旭川市職親会は、全道で14か所ある職親会の中でも、最も古く伝統と歴史のある職親会であり、現在133名（法人・個人）の会員様のご協力、ご賛同をいただきまして社会福祉法人旭川旭親会、障害者支援センターきたのまちが中心となって運営しております。
 今年は新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが、季節性インフルエンザなどと同じ5類に移行したことを受け、「総会・優良従業員表彰式、祝賀会」、「障がい者激励会」、「職場訪問研修会」を中心とした会の行事を約4年ぶりに開催することができました。8月20日に障がい者激励会（パークゴルフ）、10月5日に職場訪問研修会（北海道はまなす食品株式会社）を実施し、多くの会員の皆様にご参加いただき、心より感謝を申し上げます。
 今後も、一人でも多くの事業主の方、ならびに趣旨にご賛同いただける団体および個人の方に会員となっていただけるよう活動して参ります。
 本年もよろしくお願いいたします。



就労継続支援B型

新年あけましておめでとうございます。
利用者の皆様、ご家族の皆様、地域の皆様、
関係各位の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げ
ます。

このたび能登半島を中心としたエリアで発生し
た地震と津波により、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。被災地では余震が続き不安な日々が続
いていると存じますが、皆様の安全と一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げます。

昨年5類感染症となった新型コロナウイルスですが、終結することなく早や4年を数えます。また、インフル
エンザを含め様々な感染症が蔓延している中ではありますが、昨年は利用者の皆様が楽しみにしている研修
旅行・ふくしえん祭り等の開催や、北北海道知的障がい福祉協会主催のソフトボール大会、PG大会等へ参加
することができました。参加した利用者の皆様の笑顔がみれ、少しずつではありますが日常の生活が戻ってき
た事に嬉しさを感じます。


本年においても、旭川福祉園では施設外就労、施設内作業、農作業、就職支援等、利用者の皆様の希望に
沿った「働きたい」を応援させていただきたいと思っております。

本年もよろしくお願ひ致します。

   施設長 加藤浩二

私は昨年の3月中旬から旭川福祉園に入りました。
最初に行った作業は贈答品や箱折りなどの園内作業
をしました。そして1ヶ月が経過し、夏には東旭川
で農作業を行いました。6月からは新しく施設外就
労に参加しました。短期間の施設外就労ではJ A上
川中央のフレコンたたみ作業や、冬の花咲町内会の
スノーサポートを頑張りました。

私は、自分の人生や夢を叶えるために自分から
積極的にバリバリ働いて毎日、午前と午後になん
の仕事をしたのかを1日ずつ忘れないように覚える
ため、メモを取り、精一杯頑張っていきたいと思
いますので今後ともよろしくお願ひします。

利用者より 小坂知也 



農耕について



東旭川圃場では、令和2年度から始めたビニールハウスを使用し
てのトマトの栽培(春から夏)ほうれん草栽培(秋から冬)は、昨年7月、
利用者様の農作業の安定と収益増加を目的としてのビニールハウスを
2棟から3棟に増設しました。これにより昨年度はほうれん草収穫量が
1.5倍に増加し、令和6年度は春から夏場にかけてのトマト生産量も
大きく増えることが期待されています。

支援員 齋藤勝章




新年あけましておめでとうございます。

今年度より就労支援に特化した独自の事業
として『就職科』を立ち上げ、定員内の5名
を対象にスタートしました。同法人の「きたのまち」とも連携を図り、
就労継続支援B型事業でありながら、就労移行支援事業のような機能
を持たせ展開しています。園内作業や施設外就労で実践を積みながら必要
なスキルを身につけ、工賃を稼ぎながら就職活動を行えるという点が
最大の特徴です。離職後、就職に再チャレンジしたい方や、卒後すぐの
就職が不安な方、B型事業所からステップアップしたい方などが『就職
科』を希望されています。主な活動内容は企業見学や体験、ハローワー
クへの同行、履歴書の記入指導、面接の練習・同行、就職後の定着支援
など様々なサポートを行います。現在までに菓子製造、障害者グループ
ホームの世話人、配送センターの配送補助業務、車両販売店の洗車業務
等へ就職をし、皆さん継続し頑張っている際中です。就職を目指す方々
の支えとなり自立への第一歩となるように、今後もニーズに応じた取り
組みをしていきたいと考えています。ご興味のある方は是非、『旭川福
祉園・就職科』へお問い合わせください!!

就職科



主幹 八代瑞希 

【施設長就任のご挨拶】

日頃より「社会福祉法人旭川旭親会」に対して、施設ご利用者をはじめご家族、地域の皆様等、多くの方々に温かいご支援とご協力を頂き、心からお礼と感謝を申し上げます。

このたび、令和5年10月1日付で第二旭川福祉園生活介護事業所の施設長に就任致しました尾崎でございます。どうぞよろしくお願い致します。

全くの未経験で福祉の世界に飛び込んで以来、約28年の年月が経ち、この間、旭川福祉園、第二旭川福祉園の支援員、法人事務長、グループホーム管理者など様々な職種に従事して参りました。この間、利用者の皆さんやご家族の方をはじめ、諸先輩方から色々なことを学ばせて頂きました。振り返ってみると多くの方々に支えられ、今日の自分があると思っています。施設長という職責の重大さに戸惑っておりますが、職員一丸となってご利用者、ご家族の思いを大切にしたい施設を目指していきたく思います。また、地元住民の皆様からも信頼される施設となるよう日々努力して参りますので、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年もよろしくお願い致します。

施設長 尾崎拓也

生活介護



道北アークス・パワーズ様にて月2~3回程度、当法人のしいたけやトマトジュース、ラーメン、生パスタなどの商品の販売を行っています。Facebookでもイベント情報をお知らせしています。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

コミュニケーション支援

支援員 佐藤風紗

第二旭川福祉園では現在PECS（絵カード交換式コミュニケーション・システム）に取り組んでいます。令和5年度北海道強度行動障害支援者養成研修フォローアップ研修において、門真一郎先生(フリーランス児童精神科医)の講義と久賀谷洋さんの実践的な報告を拝聴し、構造化による場面と意味の理解コミュニケーション支援は重要ですが、表出のコミュニケーション支援も重要だということを再確認し、言語でのコミュニケーションを取ることが難しい方、言語的指示での理解が難しい方に対し、絵カードを用いて、表出コミュニケーション、一日の活動スケジュール設定等のサポートを行っています。

事業所内の「喫茶ほぷら」でのお買い物や小行事にて実際に自分で伝え購入する体験を行いました。取り組み始めたばかりであるため、慣れない部分もありますが、支援員一同さらに勉学に努め、試行錯誤しながら利用者の皆様のより充実した生活を提供できるよう今後も取り組んで参ります。



グループホーム

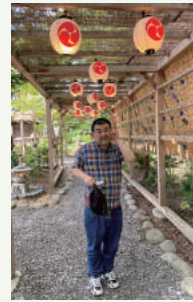
現在、社会福祉法人旭川旭親会の運営するグループホームは3カ所の地域で暮らしており、女性用「グループホーム花咲」に4名、「グループホーム北野」に6名、男性用「グループホーム東旭川」に10名、計20名の方が自立した生活を送っています。

今年も町内会の花植えや清掃などの行事にも参加し地域の方々との交流も増えています。

支援係長 尾田 さほり



今回も敷地内で、皆さんお楽しみの「バーベキュー」を行いました。皆さんからはとても好評で喜ぶお顔を拝見でき沢山の食糧をいただきました。そして、コロナ禍で今まで行けなかった外食に出かけることができ、美味しかった、また行きたいとお声を頂きました。今後も感染等に十分気を付け、外出や外食等、皆さんの希望をお聞きしながら今後も充実した日々を送っていただけるようにして行きます。



今年も隣接するガーデンには、花や野菜等、小さな菜園を作り、皆さんに見て、食べ、楽しんで頂きました。採れた野菜は新鮮で好評でしたので今後も少しずつ作っていきたいと思います。一昨年から植えたシャインマスカットも、まだまだ小さいですが、日々大きくなあれ！と声を掛け、皆さんのお口に入る日を楽しみに、今後も愛情をもって育てていきたいと思います。



2023年

のできごと

2年ぶりの研修旅行！！

第25回 ふくしえん祭り



2泊3日(福岡)



1泊2日(北広島)



ソフトボール大会
オーシャンリーグ
第3位！！



日帰り①(富良野)



日帰り②(富良野)



町内・神社清掃

寄付金・御祝金



(株)盛永組様
 (有)工イム様
 (株)西山坂田電気様
 (有)クボタ贈商様
 (有)イテオーコーポレーション様
 (有)エイケイエム紙商事(株)旭川支店様
 (株)大和パッケージ様
 (株)ドルック様
 (株)ネクスストソリューションズ様
 (株)大地コンサルタント(株)様
 (株)旭川防災(有)本様
 (有)すなだ製本様
 (株)柴滝建築設計事務所様
 (株)渡辺贈商(株)様
 (株)共同印刷機材(株)様
 (株)オール・ワン様
 (株)H J K様
 (株)名鉄観光サービス(株)様
 (株)花咲親睦会様
 (株)N A パック様
 (株)北星信用金庫旭川支店様
 (株)北海道エネルギー(株)道北支部様
 (株)木本動力工業所様
 (株)北沢産業(株)旭川営業所様
 (株)エムズフード様
 (株)旭川トヨベツト(株)花咲店様
 (株)エスポワール様
 (株)ホクカール様
 (有)東洋オフセット(株)様
 (株)神正木建様

(株)北洋銀行旭川中央支店様
 日本防水総業(株)旭川様
 (株)幸栄様
 東旭川農業協同組合様
 (株)力シユナ様
 (株)片桐紙器様
 (株)旭川ガス(株)様
 (株)北海道銀行旭川支店様
 (株)イー・アンド・イー(有)様
 (株)北日本観光(株)様
 (株)旭川信用金庫北星支店様
 (株)トヨタカローラ道北(株)様
 (株)カイロオフィス大雪様
 (株)吉田建設社様
 (株)ひだの塗装様
 (株)旭川福祉園保護者の会様
 (株)旭川福祉園互助会様
 (株)今野正孝様
 (株)加藤浩二様
 (株)尾崎拓也様
 (株)旭川旭親会職員様
 (株)旭川旭親会職員様

寄贈品



コカ・コーラ様
 鴨崎祐太様
 (株)エムズフード様
 (株)西山坂田電気(株)様
 (有)旭川防災様
 (株)柴滝建築設計事務所様
 (有)エイム様
 (株)三建設事務所様

~新任職員紹介~



【就労継続支援B型】
 支援員 後藤 幸紀



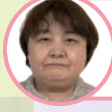
【就労継続支援B型】
 支援員 鎌田 みづき



【就労継続支援B型】
 支援員 田附 翔



【グループホーム東旭川】
 世話人 中野 幸治



【グループホーム北野】
 世話人 日向 峰子



【グループホーム北野】
 世話人 藤田 香織



【グループホーム北野】
 看護師 嶋田 早苗



【生活介護】
 副施設長 武田 亘明



【生活介護】
 支援員 佐藤 風紗



【生活介護】
 支援員 送迎運転手 新村 稔



【生活介護】
 看護師 市川 幸子



【生活介護】
 支援員 三浦 弥生



【生活介護】
 支援員 看護 藤本 千晶



【きたのまち】
 支援員 高橋 紀一



【きたのまち】
 支援員 富本 功

編集後記

昨年はWBCにて日本が14年ぶりの優勝や阪神タイガース38年ぶりの日本一など明るいニュースが舞い込んできた中、年明けには心が傷む出来事が続く2024年の始まりとなりました。旭川旭親会では通常通りに仕事始めを迎えることができ、今居る恵まれた環境に感謝し、1日1日を大切に過ごしていきたいと改めて感じる思いでした。

行事も徐々に復活し、利用者さんの喜びの声や楽しさが伝わり私たちも嬉しい気持ちになりました。今後も皆様に安心して通園していただけるよう、職員一同力を合わせて頑張ってまいります。

【佐々木】